

事業所名	ふらっと（児童発達支援/放課後デイサービス）	支援プログラム	作成日	2025年	2月	14日
法人（事業所）理念	社会福祉法人つながりは、一人ひとりの生活から出発した地域福祉の姿を創り出し、地域の人々が生きがいをもって積極的に参加できる協働による市民ネットワークを広げ、人間主体の「新しい福祉のまちづくり」を推進していくことを目的としています。 障がいがある・ないにかかわらず、全ての人々が生き生きと活動できる社会を目指すノーマライゼーション理念と人間的復権を目指すリハビリテーション理念を中心に据えて、その理念の具体化に向けて障がいがある人々が地域社会であたりまえに豊かに生きがいをもって暮らしていけるように積極的に援助します。					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ●地域における障がい児の将来的な生活を考え、未就学から学校生活、学校生活から社会生活へ転換するための社会的基礎能力を身につけてもらえるように個別・小集団でのプログラムを提供する。 ●継続的に統一した支援が行われるように必要に応じて家庭や他の事業所、学校との連携を図る。 ●個々の得意なことや興味・関心を大切に伸ばしていく。またプログラムの充実させ、子どもたちの参加意欲を引き出し、知識・経験の幅を広げ、達成感を得られるように支援する。 					
営業時間	(放デイ・学校開業日/代休日) 11時～17時30分 (放デイ・長期休暇期間) 9時～16時 (児発) 10時～16時 【事業所休日】土・日・祝日・夏期(8/10～15)・年末年始(12/29～1/3)	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の把握→検温等による状態確認をします。早退の必要がある場合は予め送迎の可否、複数の連絡先を聞き取りします。 ●感染症対策→靴を脱いだらすぐに手洗いができます。室内は常時の換気、複数台の空気清浄機を稼働させ、可能な限りの室内環境を整えています。 ●食事面→おやつも含めてアレルギーは事前に聞き取ります。年齢や成長に応じた提供方法（量、食材の刻み、箸やスプーン等）を行います。 ●トイレトレーニング→特に下着の変更（紙から布へ）はご家庭、学校、園での対応時期に合せます。 ●生活環境面→個別・小集団活動は特徴に配慮します。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●粗大運動→イスや床での座る姿勢に注視します。散策を通じて体力・交通ルール（信号・横断歩道・車／人との距離等）・移動能力の向上を図ります。 ●微細運動→創作活動で使用する素材・道具を通じて【つかむ、ひっぱる、つまむ、とおす、ぬう、はめる、描く、切る】等を学び、どんなことをふらっとで行ってきたかが分かりやすいように作品を持って帰ってもらいます。 ●身体移動の能力の向上→長期休暇（春・夏・冬）は外出をする機会が増えます。車以外に電車・バスを利用することで乗降の仕方、車内の過ごし方を学びます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●色彩・図形に関すること→【指定された番号と色が一致する色塗り・ピース数を区分したパズル・型はめ・モデルのある切り工程等】 ●四則計算、金銭、数に関すること→【計算・数の2～5枚のプリントやアプリケーションの提供・買い物カゴに入れてほしい商品と数量の確認・支払い】 ●時間に関すること→【スケジュールと行動の確認、デジタル／アナログ時計の見方、時間プリントの提供】 ●ルールのある遊びや順番に関すること→【ボール投げ・転がし、かくれんぼ、カードゲーム（トランプ等）、玩具の使い方等】 				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●個別・小集団での特性に応じた制作や読み書き→月ごとに創作物があります。特に「テープ、ハサミ、消しゴム、〇色の色鉛筆」といった備品・道具の貸し借りは口頭やカードで、プリントでは言語課題【ひらがな、カタカナ、漢字、文章つなぎ、イラストと文字の照合、時間の感覚、数字（お金や計算を含む）】を中心に取り組みます。 ●コミュニケーション機器・手段の活用→指差し、身振り、手振り、模倣、文字、絵カードやイラスト、タブレットを用いたPECS等で意思表示を探っていきます。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●一人遊びから協同遊びへの移行→周囲に他児がいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、職員が役割分担を任せる等して介入し、ルールを守った遊びを通して社会性の発達を支援します。 ●外出活動では体験する機会を提供→公共交通機関（電車であれば乗換含む）を利用した外出、施設への買い物では商品選び、支払いや袋詰めまで見守ります。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ●送迎時や連絡帳で利用状況を報告します。 ●ご家族には現状、将来の相談はいつでも相談してほしいことをお伝えしています。相談支援員への報告が必要であれば許可のもと報告します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ●仮に学童等への移行が必要（転居に伴い他事業所への通所を含む）な場合は、相手側の担当者への引継ぎ（資料も添付）を行います。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ●法人や地域行事（夏祭り、冬祭り）への参加案内や、ふらっとで運営している農園で収穫した野菜を近隣に配ったりすることで地域生活の参加機会を増やしていきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●ふらっと内では毎日のミーティング、帰りの送迎後の報告、その日の検証・解決案を日々繰り返しています。 ●年3～5回の法人研修を実施しています。（新入職員研修、虐待防止・身体拘束・感染症対策・コミュニケーション、ハラスメント等） 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ●長期休暇（春・夏・冬休み）→電車・バスを利用した外出（車両の場合も有り） ●7月→夏祭り（法人主催）／12月→地域冬祭り（法人後援） ●避難訓練（年2回程度→火災・地震） 					